

(様式3)

公共事業再評価調書

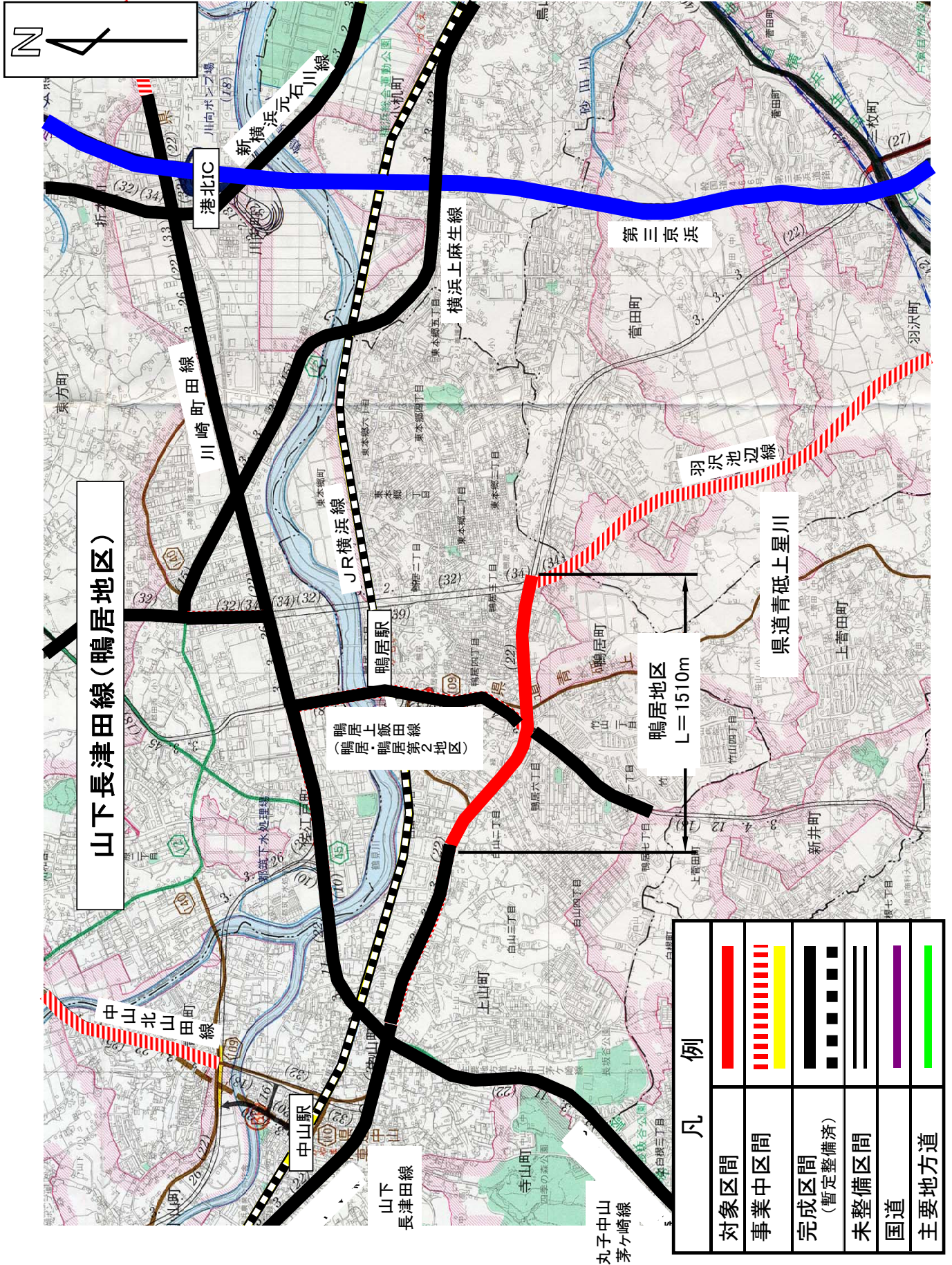
番号	道路-1		事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路山下長津田線整備事業（鴨居地区）			採択年度	H 6	
施工場所	緑区白山一丁目～鴨居町			経過年数	20年	
目的及び事業概要	<p>目的</p> <p>山下長津田線は本市の幹線道路網の骨格となる放射道路の一つに位置付けられており、中区山下町から緑区長津田町までを結ぶ延長約20kmの重要な幹線道路です。本地区を整備することにより、神奈川区と緑区との連絡機能を強化し、JR 横浜線沿線の地域拠点と本市中心部との交通円滑化を図るほか、慢性的な交通渋滞が発生している県道青砥上星川と菅田道路のバイパスルートとなり、JR 鴨居駅周辺の交通渋滞の緩和を図ります。なお、本事業は平成15年度、20年度に再評価を実施しています。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長1,510m、幅員22m(往復4車線)、用地面積25,800㎡</p>					
			当初(事業採択時)	変更(平成20年度)		
	事業期間		平成6年度～平成20年度		平成6年度～平成27年度	
	事業費	合計		17,300百万円	20,117百万円	
		国費		8,650百万円	10,058百万円	
		市費		8,650百万円	10,058百万円	
	変更内容		事業実施段階で詳細に工法等を検討した結果、事業費が増加しました。			
	上位計画等の位置付け		<p>本市の「中期4か年計画」において、「基本政策 施策27 交通ネットワークの充実による都市基盤の強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。</p> <p>また、本市の減災対策として今年度策定された「横浜市地震防災戦略」においても、「緊急輸送路等の整備」として、幹線道路の整備が位置付けられています。</p>			
関連事業		特になし				
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢等の変化		隣接する白山・上山地区の供用開始、鴨居上飯田線(鴨居・鴨居第2地区)の完成により、環状3号線を含むJR中山駅と鴨居駅との間の道路ネットワークを形成する為、本地区の重要性がより高まっている。			
	事業の投資効果		事業全体		残事業	
			割引率		4%(2%)	
			総便益(B)		368億円(600億円)	299億円(487億円)
			総費用(C)		229億円(175億円)	50億円(52億円)
			費用便益比(B/C)		1.6(3.4)	6.0(9.4)
			感度分析 [交通量-10%]		1.4(3.0)	4.9(7.7)
			[その他特記事項]			
B/Cの算定にない事業効果		地域の生活道路に流入している通過交通が適正に本路線へ転換することにより、住宅地の生活環境が改善され、歩行者の安全確保等も図られるとともに、神奈川区と緑区との連絡機能が強化され、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。				
残事業の内容		東側区間の750mの用地取得、道路設計、工事など				

事業の進捗状況	事業進捗率%	平成 22 年3月に計画延長の半分の 750mの西側区間が開通しました。東側区間についても工事着手に向けて、関係機関との調整を進めています。	
	69%		
	用地取得率%		
	87%		
	供用等の状況		
	西側を供用済み		
事業の課題及び進捗見込み	東側区間も、西側区間と同様に住宅地内にトンネルを築造することとしており、家屋に影響の少ない工法の検討が必要です。また、現道を分断する箇所もあり、地元や関係機関との協議に時間を要しています。		
代替案立案等の可能性	—		
その他コスト削減項目等	東側区画も、西側区画と同様にトンネル構造及び工法が必要になります。よって西側区画での施工実績を元に、より一層のコスト縮小を施工計画に織り込みます。工事施工においては、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処分費のコスト削減を図ります。		
過去の委員会からの意見等	委員会年度	意見具申等	意見具申等に対する対応状況
	平成 15 年度	緑化の充実を図るとともに短期で効果的な道路ネットワークを形成すること。	緑化等に配慮しながら道路整備を行い、短期で効果的な道路ネットワーク形成に努力しています。
	平成 20 年度	特になし	
その他	—		
対応方針(案)		計画通り(上記計画を実施)※ 1	
	継続	一部見直し(上記計画を変更)※ 2	
		【見直し内容】	
中 止			

対応方針案とした理由	本路線は、環状 3 号線、鴨居上飯田線、羽沢池辺線、環状 2 号線と接続するため、横浜市北西部の道路交通ネットワークを強化する重要な路線であり、今後も早期整備に向け事業を推進してまいります。
------------	---

※ 1 : 既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※ 2 : 今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。



山下長津田線(鴨居地区)

凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	



凡例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	

標準横断面図

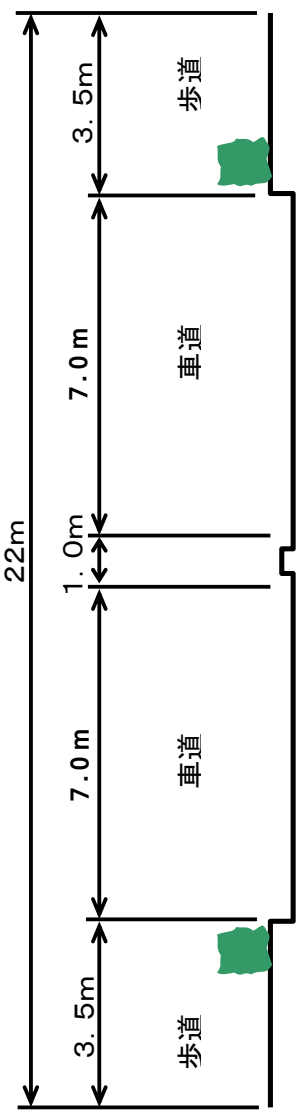


写真1

西側地区



白鴨トンネル坑口(緑営業所側)

写真3

東側地区



鴨居四丁目35番地付近(計画トンネル東側抗口)

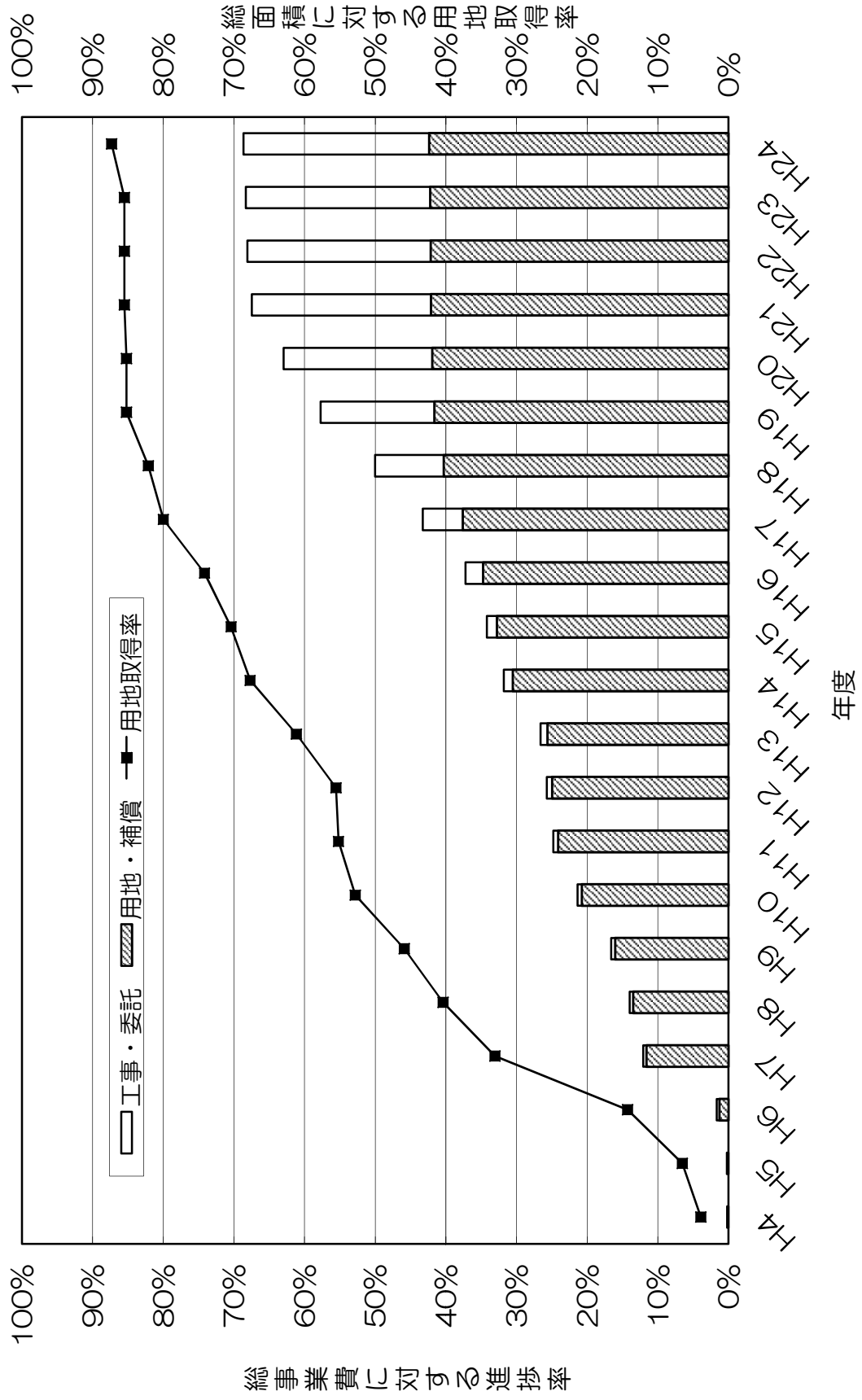
写真4

東側地区



鴨居四丁目75番地付近から西側方面

事業進捗状況 山下長津田線（鴨居地区）



事業進捗状況

山下長津田線(鴨居地区)

(単位：百万円)

年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m ²)	累計(m ²)	用地取得率※3
H4	39	0	39	0.2%	0.0%	0.2%	1,009	1,009	3.9%
H5	6	0	6	0.2%	0.0%	0.2%	676	1,685	6.5%
H6	288	258	30	1.7%	1.3%	0.4%	2,000	3,685	14.3%
H7	2,093	2,081	12	12.1%	11.6%	0.4%	4,843	8,528	33.1%
H8	387	375	12	14.0%	13.5%	0.5%	1,895	10,423	40.4%
H9	525	510	15	16.6%	16.0%	0.6%	1,414	11,837	45.9%
H10	960	950	10	21.4%	20.7%	0.6%	1,792	13,629	52.8%
H11	689	677	12	24.8%	24.1%	0.7%	612	14,241	55.2%
H12	185	173	12	25.7%	25.0%	0.7%	90	14,331	55.5%
H13	181	135	46	26.6%	25.6%	1.0%	1,444	15,775	61.1%
H14	1,044	983	61	31.8%	30.5%	1.3%	1,692	17,467	67.7%
H15	484	456	28	34.2%	32.8%	1.4%	696	18,163	70.4%
H16	607	393	214	37.2%	34.8%	2.5%	968	19,131	74.2%
H17	1,216	574	642	43.3%	37.6%	5.7%	1,505	20,636	80.0%
H18	1,355	544	811	50.0%	40.3%	9.7%	545	21,181	82.1%
H19	1,556	270	1,286	57.7%	41.7%	16.1%	804	21,985	85.2%
H20	1,054	61	993	63.0%	42.0%	21.0%	0	21,985	85.2%
H21	901	35	866	67.5%	42.1%	25.3%	73	22,058	85.5%
H22	131	9	122	68.1%	42.2%	25.9%	0	22,058	85.5%
H23	45	14	31	68.3%	42.2%	26.1%	0	22,058	85.5%
H24	61	28	33	68.6%	42.4%	26.3%	468	22,526	87.3%
合計	13,807	8,526	5,281				22,526		

※1 事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和
 ※2 事業進捗率(用地補償、工事委託)は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合
 ※3 用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合

前回再評価内容との比較 都市計画道路山下長津田線整備事業（鴨居地区）

	前回（H20）	今回（H25）	5年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	隣接工区の白山・上山地区の供用開始、鴨居上飯田線の完成により、環状3号線を含むJR中山駅と鴨居駅との間の道路ネットワークを形成する為、本地区の重要性がより高まっています。	西側区間が供用されたが、東側区間は、未供用となっている。鴨居駅前においては、菅田道路からの通過交通を東側区間に転換することにより、交通の円滑化と歩行者の安全性の向上が期待できます。	平成21年度末に、西側区間（横浜市交通局緑営業所から鴨居病院まで）が供用されており、引き続き、東側区間の整備の必要性も高まっています。
事業進捗率	61%（63）%	69%	+6%
用地取得率	85%（85）%	87%	+2%
供用等の状況	---	平成22年3月に西側地区が供用される	---
事業の進捗見込	完了期間を宣言した鴨居上飯田線との交差点から西側区間の用地取得は完了しました。平成16年度に横浜市交通局緑営業所側から工事に着手し、平成21年度末の完成を予定しています。 また、東側区間はトンネル構造及び工法の検討を進めるとともに、用地取得を進め、平成23年度に工事着手し、平成27年度に完成する予定です。	東側区間も、西側区間と同様にトンネル構造を採用しています。本線に加えて、側道も含めた用地取得が必要ですので、関係する地権者の理解を得られるよう、継続した交渉が必要です。	引き続き、早期に工事に着手できるよう、用地取得や設計、関係機関協議等を進めていく予定です。

前回委員会での主な意見等	特になし
--------------	------

※前回再評価から全体事業費が変更されている場合、前回時点での事業進捗率が変化してしまうため、参考として新事業費での事業進捗率を（ ）で示した。